

# 建設防災 ボランティアニュース 第 48 号

## 25 年度定期総会の開催

～ 杉浦新会長体制発足 ～

平成 25 年度の定期総会は、6 月 19 日(水)午後 3 時から東京都道路整備保全公社 A・B 会議室において開催されました。



### 開 会

今年度は役員の変更期に当たるため、会長他多くの役員が選任されました。

まず、7 期 14 年にわたり、会長を務められた沼尻 敦さんが勇退され、後任に顧問である杉浦浩さんが会長に選出されました。

次に、小山幸也さんに代わり理事である新井敏男さんが副会長に、理事である中田勝司さんと本間 弘さんに代わり高橋紀男さんと萩原松博さんが新たに理事に、小山幸也さんは監事にそれぞれ選任され、それ以外の副会長、理事及び監事は再任されました。

会長を退任された沼尻 敦さんは、石川金治さん、古川公毅さん、山口 明さんとともに杉浦新会長から顧問に指名されました。

事務局書記の交代もあり、道路整備保全公社は、竹森治久と藤枝公子さんから竹澤 康と白石キミ子さんに、公園協会は長島和夫さんから桜井國男さんにそれぞれ代りました。

各事務所のリーダー及びサブリーダーも一部に交代があり、二建では野村孝雄さんから船山吉久さんへ、四建では伊藤政行さん、黒淵弘二さんから小山完治さん、小柴 茂さんへ、南西建では高橋紀男さんから老沼宏二さんへ、北北建では松倉迪郎から飯塚政憲さんに代りました。

各役員などが決まりましたので杉浦新会長のもと、この体制で 2 年間の協会運営を行うことになりました。

また、建設局、道路整備保全公社、公園協会からは幹部等が来賓として出席され、祝辞を述べられました。

村尾東京都技監からは、総合防災訓練を始め局事業への協力に対して感謝の意を述べられた後、局の取り組み等を説明されました。



村尾東京都技監

東日本大震災の復興支援については、派遣期

間が6カ月であった24年度は27名、派遣期間を1年間に延長した25年度は8名の職員を被災地自治体に派遣し、大きな戦力として活躍している。それぞれの自治体からは感謝の意が示されている。そして、東京における首都直下地震等に対する防災力を強化するため、橋梁・水門・護岸等の耐震補強や基幹道路などの都市インフラの整備は引き続き推進していく。また、局と協会との一層の連携を強化するため、一昨年から行っている局幹部と協会員との懇談の場を今後も継続していきたいと話されました。

道路整備保全公社山口理事長からは、総会への祝辞の後、公社が実施している「かちどき橋ミニツアー」参加者からの意見を紹介しながら当協会会員の親切な対応にお礼の言葉がありました。



山口理事長



鈴木常務理事

公園協会鈴木常務理事からは総会の祝辞の後、公園協会が大きなテーマとして取り組んでい

る防災事業の例を示しながら、今後ともボランティア協会と密接な連携を深めて、しっかりとした防災体制を整えていきたいとの挨拶がありました

広報担当理事 加藤 基雄

## 定期総会の報告

定期総会は会員156名中91名の会員の参加を得て開催されました。

中田理事の司会のもと、沼尻会長からは、「東日本大震災から2年を経過しているが、避難生活を余儀なくされている方々がまだまだ多くいる。一日も早い復興を願う。都でも昨年4月、首都直下型地震等を再検証し、より実態に即した被害想定へと見直しが行われ、11月には、地域防災計画が「自助・共助・公助を束ねる地震に強いまちづくり」を主要な視点に修正された。私たち自身もその備えを十分にしていけるとともに、これまで永年にわたり培ってきた知識や経験、地理・地勢に明るいことを活かし、更に日頃の訓練や研修などで防災能力を高め、震災などの有事に備えていきたい。」との挨拶があった。そして、来賓の挨拶を頂いた後、柳川修会員を議長に選出して議事に入りました。



総会の様子

平成24年度の事業報告を本間理事が、決算報告を丸岡理事、会計監査報告を興水監事が説明して、いずれも拍手多数で承認されました。

引き続き、平成25年度の事業計画(案)を小山

副会長が、予算(案)を丸岡理事が説明して、いずれも拍手多数で承認されました。

役員を選出では、沼尻会長から会長を退任したい旨の申し出があったため、理事会として協議したところ杉浦浩氏を会長に推薦したいという説明があり、満場の拍手で承認されました。

続いて、新旧会長の挨拶を頂きましたが、詳細は後段をご覧ください。

続いて、副会長等、新役員を選出を行い、無事に議事を終了しました。



感謝状の贈呈

その後、新会長から各事務所担当リーダーに委嘱状、活動功労者等に感謝状が贈呈され、定期総会を終了しました。

そして会場を二庁4階ホールに替えての懇親会に移りました。仕事の関係で総会に出席できなかった6名の方を含め70名の会員が参加されました。



沼尻前会長への感謝状の贈呈



懇親会の開会



リーダー委嘱状の贈呈

矢野理事の司会で開会、杉浦会長の挨拶、道路整備保全公社山口理事長の乾杯の音頭で始まり、和やかに、また、大いに盛り上がり2時間余の楽しい一時を過ごし、最後に飯樋副会長の締めでお開きとなりました。

南西建班 老沼 宏治



### 会長退任挨拶(14年間を振り返って)

平成11年度に別所前会長が1期勤められた

会長職を引き継ぎ、皆様の協力を得て 14 年間の長きに亘り職務を全うすることが出来ました。長い間、本当に有難うございました。



#### 沼尻前会長退任挨拶

私事ですが数年前から会長職を退任したいと思っておりましたが、なかなか後任の方の了解が得られない状況が続き、現在にまで至ったわけです。この度やっと希望がかない、後任に杉浦さんが決定して、肩の荷が下りた感じで、ホッとしていると共に非常に喜んでいるところです。

私が会長に就任した頃を振り返ってみますと、予算は道路整備保全公社、公園協会からの補助金が各 50 万円の 100 万円、会員数は約 150 人でした。

当時は、ボランティア活動に対する認知度が低かった為か保険料が今と比べて非常に高く、予算に占める割合も大きかった中で、新しい種々の事業を会員の皆さんの協力を得て立ち上げることが出来ました。

こうした協会の活動を、会員にお知らせする機関紙を発行することにしましたが、十分な予算が確保できない状況の中で、当時の担当役員がガリ版を切り、謄写版で印刷作成いたしました。

その後は、事故・怪我が無いことから、保険料も年会費でまかなえる位まで下がってきましたので、パソコンでの編集印刷が可能になり、数年前からは、比較的廉価な外注印刷が出来るようになりました。

現在では 700 部を年 4 回発行して、会員の方だけでなく関係する方々にもお配りしています。

その他に、10 周年、15 周年の節目には、活動記録を纏めた記念誌も発行してきました。

さらに、担当役員のご努力で協会のホームページも開設しまして、機関紙のバックナンバーを掲載し、いつでも閲覧できるようになっています。

また本年 6 月からは毎月の建設局報も掲載することになりました。

このように協会の活動内容は充実してまいりましたが、近年の報道でも懸念されておりますように、首都直下型大地震や都市型大豪雨に対する備えが急がれております。いよいよ当協会の役割と責任が大切になってまいりました。杉浦新会長のもと、協会員の皆様の益々のご活躍を期待申し上げます。

最後になりましたが、我々協会の活動に物心両面のご支援を賜っている建設局本庁・事務所、道路整備保全公社、公園協会はじめ、当協会の皆様に、改めて感謝申し上げます。

沼尻 敦

#### 会長就任に当たって



#### 杉浦新会長就任挨拶

14 年に亘り多くの実績を上げられた沼尻会長の後任に選出され、責任の大きさと協会の運営に緊張と戸惑いを感じておりますが、皆様のご指導

ご協力を得て、職責を果たしていきたいと思っております。

本協会は、大規模地震により災害が発生した際の初期段階において、公共土木施設の整備、管理等についての専門的知識を有する我々ボランティアが、公共土木施設等の被害状況の迅速な把握や適切な応急復旧等に協力する目的で平成9年に発足し、昨年、15周年を迎えました。

その間、平成11年には砂防ボランティア制度の創設、平成15年には「東京都地域防災計画震災編」において、当協会が建設局の関連災害ボランティア団体として位置づけられております。

また、建設局と連携した防災訓練や各種講習会や施設見学会等を実施しているほか、建設局の行事に協力して、道路施設点検、「河川愛護月間」行事、勝鬨橋見学ミニツアー等々も行ってあります。

こうした幅広い活動とその実績は、建設局はもとより、多くの都民からこれからも信頼と期待が寄せられているものと思っております。

改めて、歴代の先輩及び会員の皆様の真摯なご努力と社会貢献へのご意欲の高さに、心より感謝と敬意を表する次第です。

今日、各種報道で、「首都直下地震」や「南海トラフ地震」のような大地震がいつ発生し、東京に大災害が起こるかわからないとされております。

このため、都民や民間企業、行政も日頃から十分な備えをしていかななくてはなりません。

いざという時には、我々建設防災ボランティアの果たす役割や重要性は益々大きくなってきていると思います。引き続き建設局と連携し、これまでの実績を踏まえながら、都民のため、皆さんと一緒にその役割を果たしていきたいと考えています。どうか会員の皆様のご尽力の程を宜しくお願い申し上げます。

東京都建設防災ボランティア協会  
会長 杉浦 浩

## 第1回リーダー会議を開催

6月25日午後、都道路整備保全公社会議室において第1回リーダー会議が開かれました。

これは、本年度事業を円滑に進めるために役員と各事務所リーダーの方々が意思疎通や意見交換等を図るため毎年、総会后に行っているものです。

会議は新井副会長の司会進行のもとで始まり、最初に新たに会長になった杉浦氏から「会員の皆さんから沼尻前会長の後任を仰せつかり、責任の大きさに緊張感を感じている。

幸い、役員やリーダーの皆さんに大幅な交代がなかったため、皆さんの協力を得て昨年度と同様に本年度事業を円滑に推進していきたい」との挨拶がありました。

議事に入り、新井副会長から

- 1) 25年度の事業予定
- 2) 東京都総合防災訓練
- 3) 河川愛護月間行事支援
- 4) その他

の議題が示され、最初に1)25年度の事業予定について二宮副会長が、総会で承認された事業計画について各事業の概要、実施時期、担当役員などを説明しました。

次に2)東京都総合防災訓練について、久保田理事が総務局から示された資料をもとに説明がありました。

その内容は、実施日時は11月23日(土)9時から12時まで、会場は都立秋留台公園ほか、統一テーマは「自助・共助」と「連携」、主な訓練内容として

- ①地域住民の避難場所への避難訓練及び避難場所運営訓練
- ②住民共助による訓練
- ③土砂災害からの道路啓開及び救出救助活動等訓練

④り災証明発行訓練などでした。

具体的な訓練内容は現在協議中とのことであり、決まり次第、建設局から連絡があるので、担当事務所のリーダーの方は各事務所担当と密接な連携をとって欲しいとの要望がありました。

さらに、訓練では防災服・防災ヘルメットは必ず着用すること、防災用ヘルメットは本会から支給するので参加者には所有の有無を確認することも併せて要望されました。

最後に7月1日から行われている4)河川愛護月間行事の支援について佐藤理事から説明がありました。毎年各事務所で行われる都民参加行事の「川を歩こう」については、本年度は10事務所で行われるので、実施にあたり事務所責任者と連絡を密にして協力してほしいとのことでした。

また、「川のパネル展」については、一部の日に案内協力者がいないのでこれも協力をお願いしたいとのことでした。

引き続き質疑応答に入り、道路施設点検の内容は？、都総合防災訓練の時期が通常と異なった訳は？、のほか、河川愛護月間行事の内容を早期に連絡して欲しいなどの要望も出されました。

最後に、新井副会長から本年度も建設局と密接な連携を保ちながら事業を円滑に実施していきたいので、リーダーの皆さんのご協力をお願いしたいとの挨拶があり、閉会しました。

広報担当理事 丸岡 敏夫

### 河川愛護月間行事及び道路施設等点検が実施されました

本年も例年のとおり河川愛護月間行事及び前期道路施設等点検が行われ、暑い中を多くの会員の方々が参加されました。お礼を申し上げます。

## 1. 河川愛護月間行事実施状況

### (1) 川を歩こう

河川名	開催月日	事務所	参加会員
隅田川	7/5	一建、五建、治水	4名
旧中川	7/6	治水(内部)	2名
石神井川	7/6	四建、六建	2名
南浅川	7/13	南西建	2名
多摩川	7/23	西建	3名
計			13名

### (2) 川のパネル展

場 所	開催月日	参加会員
第一本庁舎45階 南展望室	7/6～7/12	14名
第二本庁舎1階 臨時窓口 S1・S2	7/16～7/19	7名
新宿駅西口広場 イベントコーナー	7/22～7/26	18名
計		延 39名

### (3) その他

行 事 名	開催月日	事務所	参加会員
野川ちびっ子 先生集まれ	7/1	北南建	5名
わくわく川清掃& 川遊び	7/14	北北建	3名
環七地下の巨大 トンネルを体験	7/20	三建	8名
東京の川を考 えるシンポジウム	7/23	河川部	4名
計			20名

参加会員合計 72名

#### (4)各事務所班活動状況

##### 1) 四建班・六建班(川を歩こう石神井川)



音無溪谷での参加都民

##### 2) 西建班(川を歩こう多摩川)



参加会員(谷村、田中(久)、小山(弘)さん)

##### 3) 川のパネル展



来場者に説明する会員

##### 4) 北南建班(野川ちびっこ先生集まれ)



参加会員

(高橋(和)・小島・三澤・新川・池田さん)

##### 5) 三建班(環七地下の巨大トンネルを体験)



参加会員(中田、中川、加藤、井出、坂元、小川(恭)、舛原、滝澤、さん)

##### 6) 東京の川を考えるシンポジウム



講演の様子

## 2. 前期道路施設等点検

### 実施状況

事務所	実施日	参加会員
一 建	7/8・19・23	3名
二 建	7/4	6名
三 建	7/4～10	8名
四 建	7/18～26	9名
五 建	7/29～8/1	4名
六 建	7/16・117・19・31	4名
西 建	7/8～12	6名
南東建	7/11	8名
南西建	6/25～7/31	6名
北南建	7/8・17・26	4名
北北建	7/8	1名
計		59名

### 三建班バリアフリー点検(早稲田通り)



荒井所長・事務所職員と参加会員  
(滝澤、加藤、井出、中川さん)

### ※ 協会からのお知らせ ※

#### 1. 会報への局報掲載

開設しています東京都建設防災ボランティア協会のホームページに、建設局が発行しております「けんせつ局報」をPDF版で掲載することになりました。

有事の際に建設局と適切な連携が図れることを目的に、日頃から建設局の取組みを把握できるよう、会員に情報提供を行うものです。

建設局広報係の協力を得て、本年6月号より毎号に更新して掲載します。掲載場所は、TOPページの「諸活動の概要」項目内の最下段です。

開封には、会員にお知らせしてありますユーザー名とパスワードの記入が必要です。聞き漏れの会員は、当協会の各理事にご確認下さい。

協会 HP 担当 監事 輿水 昭秀

#### 2. 平成 25 年度救急救命講習会

本年度の講習会の日程は

- ・新規受講者講習会 12月11日(水)
- ・既取得者対象再講習会 12月17日(火)

場所は新宿消防署です。

既取得救命技能認定証は救命技能を維持向上させるため3年以内に再講習を受講する必要があります。費用は協会が負担いたします。詳細は別途お知らせいたします。

担当理事 二宮 克弘

#### 3. 平成 25 年度施設見学会

本年度の予定は

- ・日 時:11月13日(水)、13:50～17:00
- ・場 所:白子川地下調節池です。詳細は別途お知らせします。

担当理事 藤田 進

発行人:杉浦 浩

発 行:東京都建設防災ボランティア協会

所在地:新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

公益財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集:加藤 基雄、丸岡 敏夫

高橋 紀男、萩原 松博